

平成29年度 全国学力・学習状況調査

白根小学校

4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取り組みについてご説明します。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力をつけることに、引き続き取り組んでまいります。

地域・保護者のみなさまには、本調査の趣旨を十分に理解した受け止めをしていただけるようお願いいたします。

1 小学校 教科別 学習状況調査結果（平均正答率（％））

	国語A	国語B	算数A	算数B
本校	74	59	77	47
神奈川県	73	57	77	46
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

2 教科学習状況調査結果より

○力がついてきていると考えられる内容 ▲力をつけていくべき内容

国語A（基礎的・基本的な知識・技能が身についているか）

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと
- 俳句の情景を捉えること
- ▲目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと
- ▲学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くこと
- ▲ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること

国語B（基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるか）

- 話の構成を工夫して話すことができるためのスピーチメモのよさを捉えること
- 自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えること
- 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめること
- ▲目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すこと
- ▲目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えること
- ▲目的や意図に応じ、引用して書くこと

算数A（基礎的・基本的な知識・技能が身についているか）

- 乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すこと
- ▲整数の乗法の計算をすること
- ▲商を分数で表すこと
- ▲二つの数の最小公倍数を求めること

算数B（基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるか）

○示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述すること

○示された条件を基に、適切な式を立てること

▲数量の関係を言葉や式を用いて一般化して表現すること

▲測定値の平均を工夫して求めること

▲様々なグラフの特徴を理解し、目的に応じて、適切なグラフを選択すること

▲身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を述べること

3 調査結果を受けて

国語

昨年の方策から

- ・図や表がどのような意図で用いられているのかを理解する力をつけること（説明文の読み取り）
→図や表を読み取る力が少しずつついてきた。筆者の意図を理解して文章を読める児童が増えてきている。

今後の方策

- ・目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように話の構成や内容を工夫して話す指導の充実を行う。
- ・具体的な事実と自分の感想、意見などを区別しながら必要な内容を整理して書くことができるように指導する。
- ・漢字や慣用句など、基本的な知識を定着させるための復習や反復練習に取り組むよう指導する。

算数

昨年の方策から

- ・計算・図形についての基本的な練習の充実（スキルタイム、宿題）
→基本的な計算力・図形を読み取る力がついてきている。繰り返し練習することで基本的な技能が定着した児童が増えている。
- ・既習事項を復習する機会の充実（定期的な復習プリントの活用）
→繰り返し練習することで基本的な技能が定着した児童が増えている。
- ・出てきた考え方について話し合い、説明する場面の充実（授業の中で友達の考えを説明するなど）
→児童が説明することによって、より理解が深まり分かりやすいと感じている児童が増えてきている。また、児童間でのコミュニケーションを授業内に取り入れることで教え合い、互いに高まろうとする姿が見られるようになった。

今後の方策

- ・基本的な計算力をつけるだけでなく、計算の意味と計算の仕方を説明できるようにする。
- ・日常生活の事象を、割合や表、グラフなどを活用して考察する指導の充実

生活

「あてはまる」「どちらかといえば当てはまる」が多い回答

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
- ・授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
- ・友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか
→授業で学んだことを自分の生活に生かすことができるようになり、学習にも生活にも充実感をもっている児

童が多い。また、授業中や友達との関わりで、「相手の話を聞く」と言うことが身につけてきている。今後も指導を続け、相手とのより良い関係作りができるように支援していく。

「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」が多い回答

- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか
 - 自分の意思を伝えたり、積極的に自分を表現したりする場面を設定し、指導していく必要がある。相手の話を聞いて自分の考えを深め、それを発言できるようにすることで授業での充実感や満足感を味わえるように工夫する。
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）1時間未満（約50%）
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
 - 学校は家庭で学習できるように宿題を継続して出すようにする。また、新しい単元の学習がスムーズに入れるように関連する学習内容を事前に伝えたり、復習プリントを出したりする。
 - 自分にとって必要な学習は何かを考え、自主学習に取り組める素地を養う。